

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

| | |
|------------|----------------------------|
| 基本方針 | 7.良好な住環境を支える適切な土地利用と基盤整備 |
| 基本施策 | 7-1.都市と地域の機能強化・ネットワーク戦略の推進 |
| 関連するプロジェクト | 7.拠点形成・ネットワークプロジェクト |

将来的な人口減少時代にあっても持続的に発展し、将来世代が安心して暮らすことができるよう、都市拠点及び地域拠点の形成に取り組み、都市と地域を結びより利便性の高い公共交通体系の充実を図ります。

| | | |
|------|---|---------|
| 評価項目 | A | 順調 |
| | B | 概ね順調 |
| | C | やや遅れている |
| | D | 遅れている |

| | |
|------|----------|
| 総合評価 | B |
|------|----------|

| | |
|------|-----------|
| R5事後 | 15 |
|------|-----------|

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

| No. | 担当部署 | プロジェクト | 推進方針 | 成果指標 | 達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの) | 達成状況 評価 | 達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの) | | 今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討) |
|-----|--------|--------|---|------|--|----------------|---|--|---|
| | | | | | | | 内部要因 | 外部要因 | |
| 1 | 都市整備部 | ● | まちづくりと一体となった交通施策 都市計画マスタープランや立地適正化計画と連携を図り、まちづくりと連動した公共交通施策を展開するとともに、「利用してみたい」新しい公共交通を創出する。また、交通インフラとして、拠点間(都市拠点と地域拠点)を結ぶ公共交通(路線バスやおに丸号など)の充実を図る。 | ① | まちなか(都市拠点)と地域拠点を結ぶ拠点間交通の運行地区の割合は100%を維持している。 | A (A) | 運行事業者へ運行費補助等の支援を行い、拠点間交通を維持・確保した。 | | ◇拠点間交通を維持・確保するため運行事業者への補助等を継続する。 ◆利便性の向上、効率的な運行等を図るため、運行事業者と連携し、必要に応じて見直しを行う。 |
| 2 | 都市整備部 | ● | 協働型地域内交通の構築 地域内交通を必要とする地域への新規路線の構築について地域住民と協働で推進するとともに、運行に対する支援を行う。 | ② | 地域内交通の運行地域数は8地域であり、期待値どおり増加している。 | A (A) | ・運行主体である地域へ運行費補助等の支援を行い、地域内交通を維持・確保した。 ・地域における周知活動、利用促進などの取り組みにより、利用が増加している地域がある。 | | ◇地域内交通を維持・確保するため運行事業者への補助等を継続する。 ◆利便性の向上、効率的な運行等を図るため、地域、交通事業者と連携し、必要に応じて見直しを行う。 |
| 3 | 都市整備部 | ● | 幹線交通の機能確保 市町村間を跨ぐ路線バスや鉄道については、都市の骨格を形成するものであることから、今後も維持していくための施策(利用促進策や補助等)を実施する。 | ③ | 岩手県交通石鳥谷線及び北上金ヶ崎線の利用者数は128,475人(前年比1,076)で、回復傾向にあるものの、期待値は下回っている。 公共交通の利用を促進するため、バス・タクシー利用助成券を高齢者に交付した。 | C (C) | 利用者の減少に対応するため、国庫補助制度の活用し、岩手県交通石鳥谷線及び北上金ヶ崎線を維持・確保した。 利用助成券の大半がタクシー乗車に利用されており、バスの利用促進効果は限定的である。 | 少子高齢化の進行、コロナ禍の影響が長引き、コロナ前利用水準への回復は困難である。 | ◇岩手県交通石鳥谷線を維持・確保するため運行事業者への補助等を継続する。 ◇北上金ヶ崎線が廃止予定であることから、関係者と協議し代替交通を確保する。 ◆利便性の向上、効率的な運行等を図るため、交通事業者と連携し、必要に応じて見直しを行う。 ◆交通事業者と連携し、より効果的な利用促進策を検討する。 |
| 4 | 都市整備部 | ● | 地域拠点の形成 「あじさい都市」きたかみを形成するために、他分野の計画及び施策の整合性を図り、まちづくりの方向性を合致させていくとともに、各地域の地域拠点形成の方針に基づき、具体的な施策や取組みを推進していく。 | ④ | 人口減少地域内に住宅を取得した方で、補助金を交付した戸数は18戸(累積戸数35戸)であり、期待値どおりに推移している。R3は人口減少地域の地域拠点内を対象としていたが、R4から人口減少地域内に住宅を取得した方への補助とし、要件を緩和した。 各地区の拠点形成に向けた取り組みを推進した。 | B (B) | 住宅取得に伴う補助金を交付し、地域拠点形成と人口減少の抑制に努めた。 専門家委員会を立ち上げ、地域拠点分科会は1回会議を開催した。 黒岩小学校の跡地を利用した地域拠点形成に向けて地域と話し合いを重ねた。 | | ◇人口減少地域における地域拠点の形成と、人口減少を抑制するため、人口減少地域内に住宅を取得した方への補助を継続する。 |
| 5 | 都市整備部 | ● | 総合的・計画的な土地利用の推進 適切な都市的土地利用を促進するため、低未利用地の有効活用を進めるとともに、大規模集客施設等については適切な位置への立地誘導に努めるなど、地域の実情を踏まえた土地利用を進める。 都市拠点の機能再構築に向け策定した未来ビジョンにより北上駅西口周辺の課題解決への取組みを推進する。 | ⑤ | (R4未調査) 専門家委員会を3回、シンポジウム及び再生会議を2回開催した。また、市内中心部の整備方針を示した未来ビジョン(地区再生計画)を策定し、再開発等各事業の推進に向けて進めている。 北上駅前地区は整備方針が定まっていない。未来ビジョンに沿ったエリアマネジメントについては市内事業者と共に「みらい想像マルシェ」を実施した。 | B (B) | 駅前地区については事業規模が大きく庁内の合意形成に至っていない。 ・諏訪町地区及び本通り地区は準備組合が設立された。 ・サウンディング調査を行ったところ、本通り地区については面積が大きく事業が成立するか懸念が生じている。 ・建設費や人件費の高騰による影響も懸念される。 ・関係事業者等のエリアマネジメントに対する機運は高められたものの組織の設立には至っていない。 | | ◇R4年度に官民学によるプラットフォーム(きたかみ都市拠点再生会議)を設立した。R5は引き続き各事業を情報共有すると共に中心部全体の活性化について協議する。 ◇R4年度に引き続き国土交通省の都市再開発支援事業を活用し、再開発事業の推進に向けたサウンディング等のコーディネートを行う。 ◆事業の進捗度により、都市計画決定や本組合の設立等の工程に進む。 ◆中心部の歩行空間の整備やソフト事業等のエリアマネジメントにより、賑わいの回復を目指す。 ◆北上駅前地区の構想を策定する |
| 6 | 都市整備部 | | 通行空間の改善強化 自動車だけではなく、車椅子などを含めた歩行者、自転車が行きやすい通行空間を整備、修繕を行う。 | ⑥ | 自転車通行帯設置距離は、期待値を下回っている。設計業務は進めているが、工事に着手できておらず、整備延長に変化はない。 | C (C) | 1路線の詳細設計を行った。工事はR6年度に着手する予定 | 国庫補助金の交付額が要望額を大きく下回っている。 | ◇R5年度は1路線の詳細設計を実施する。 ◆R6年度は工事に着手する予定。 |
| 7 | 健康こども部 | ● | 通院困難者への医療の提供支援 移動診療車、オンライン診療の活用により、どの地区に居住していても一定水準以上の医療が受けられる体制を医療機関と協働で構築する。 | ⑦ | 成果指標は調査項目変更のため見直し予定 移動診療車、オンライン診療を活用した「モバイルクリニック」の実証実験を実施、44件の診療を行った。 | A (-) 新規 | 部内で北上済生会病院、医師会及び薬剤師会等関係機関との協力体制を構築し、実証実験を実施することができた。 北上市医師会、薬剤師会、北上済生会病院等関係機関からの協力が得られている。 | | ◇R4年度の実証実験結果を踏まえて、R5年度中に本格運用をスタートする予定。 |

凡例 ●実績値 ○期待値

| 指標 | 指標の説明 | 実績値 | 期待値 |
|--------|--|----------------|--|
| 指標 ① | まちなか(都市拠点)と16地域拠点を結ぶ拠点間交通の運行 拠点間交通運行地区の割合 | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | % | 実績値 | 100.0 100 100 100 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 |
| | | 備考 | |
| 指標 ② | 地域内交通が運行されている地域数 地域間交通の運行地域数 | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | 地域 | 実績値 | 7 8 8 8 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 7 7 8 8 8 9 9 |
| | | 備考 | |
| 指標 ③ | 岩手県交通石鳥谷線及び北上金ヶ崎線の利用者数 年間利用者数(前年10月~当該年9月) | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | 人 | 実績値 | 144,784 151,959 119,376 128,475 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 144,784 144,653 144,523 144,392 144,261 144,131 144,000 |
| | | 備考 | 【内訳】石鳥谷線 124,098人 北上金ヶ崎線 20,686人 【内訳】石鳥谷線 133,697人 北上金ヶ崎線 18,262人 【内訳】石鳥谷線 105,755人 北上金ヶ崎線 13,621人 【内訳】石鳥谷線 107,790人 北上金ヶ崎線 20,685人 【内訳】石鳥谷線 124,000人 北上金ヶ崎線 20,000人 |
| 指標 ④ | 人口減少地域地域拠点形成住宅取得支援事業補助金を活用した新築戸数 人口減少地域内に住宅を取得した方で、補助金を交付した戸数。(R3以前は地域拠点内に限り補助金を交付) | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | 戸 | 実績値 | - 6 17 35 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | - 6 17 28 38 49 60 |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑤ | DID(人口集中地区)人口 北上市内における人口密度が4000人/km以上の基本単位数が互いに隣接して人口が5000人以上となる地区の人口 | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | 人 | 実績値 | 30,471 32,129 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 30,471 30,513 30,555 30,597 30,638 30,680 30,722 |
| | | 備考 | H27 R2 未実施 未実施 |
| 指標 ⑥ | 自転車通行帯設置距離 自転車通行帯の整備延長 | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 都市整備部 | m | 実績値 | 240 240 240 240 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 240 1,033 1,827 2,620 3,413 4,207 5,000 |
| | | 備考 | 諏訪町商店街 |
| 指標 ⑦ | 北上市市民意識調査「医療機関の充実」満足度 「医療機関の充実」に関する市民の満足度平均 | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| 健康こども部 | | 実績値 | 4.09 4.29 3.5 |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | 4.09 4.16 4.23 4.30 4.36 4.43 4.50 |
| | | 備考 | H30 未実施 |
| 指標 ⑧ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑨ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑩ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑪ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑫ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑬ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑭ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |
| 指標 ⑮ | | | |
| 担当部等 | 単位 | R1 (現状値) | R2 R3 R4 R5 R6 R7 |
| | | 実績値 | |
| | | 期待値 ※R7は目標値 | |
| | | 備考 | |